

平成29年度 第2回 天然記念物「高宕山のサル生息地」

のサルによる被害防止管理委員会会議録

1 会議の名	平成29年度 第2回 天然記念物「高宕山のサル生息地」 のサルによる被害防止管理委員会会議
2 開催日時	平成30年 3月20日 (火) 14時00分～15時00分
3 開催場所	富津市役所 5階 502会議室
4 審議等事項	(1) 平成29年度事業の経過報告及び予算執行状況について (2) 平成30年度事業(案)及び予算(案)について
5 出席者名	(委員) 小泉 義行、石井 清孝、岡根 茂、山口 善弘、 大野 一郎、小林 琢也、嶋野 利郎、相川 正和、 小倉 満、池田 文隆 (千葉県文化財課) 水野 大樹 (千葉県自然保護課) 西川 歩美 事務局 (調査団)直井 洋司、白鳥 大祐 (富津市)能城 雅幸、岩名 生麿、桐村 修司、小澤 洋 (君津市)矢野 淳一、當眞 紀子
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0 人 (定員5人)
9 所管課	教育部生涯学習課文化係 電話 0439-80-1342
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

上記会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するためにここに署名する。

平成30年 月 日 会議録署名委員

会議録署名委員

発言者	発言内容
<p>(富津市)岩名 生涯学習課長</p>	<p>それでは定刻の2時となりましたので、平成29年度第2回天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を始めさせていただきます。本日は何かとご多用の中、本会議に出席を賜り、誠にありがとうございます。本日の進行を務めさせていただきます富津市生涯学習課長の岩名と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>会議に先立ち、出欠席の報告をさせていただきます。本日の会議は、出席者10名、欠席者3名でございます。よって過半数の委員の出席を得ており、本委員会設置要綱第7条第2項により成立しております。</p> <p>会議に先立ちまして、委員長であります、小泉富津市副市長から挨拶を申し上げます。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>皆さんこんにちは。富津市副市長の小泉でございます。</p> <p>本被害防止管理委員会設置要綱によりまして、委員長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>委員の皆様におかれましては、公私共にご多用の中、またお寒い中、ご臨席を賜りまして誠にありがとうございます。また日頃、当地域の文化財行政にご理解とご協力を頂きまして深く感謝申し上げる次第でございます。</p> <p>昭和62年に設置されました当委員会でございますが、サルによる作物への被害はいまだ多く、その役割はますます重要なものとなってきております。</p> <p>本日はお忙しい中、千葉県教育庁教育振興部文化財課の水野様、千葉県環境生活部自然保護課の西川様にお越しいただいております。</p> <p>お二人には後ほど、今後の方針等についてお話をさせていただけると思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>さて、本日の議題でございますが、</p> <p>(1) 平成29年度事業の途中経過報告及び予算執行状況</p> <p>(2) 平成30年度事業(案)及び予算(案)</p> <p>についてでございます。</p> <p>様々な立場からの御意見、ご提案等活発なご審議をお願い致しまして、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。よろしくお願い致します。</p>
<p>(富津市)岩名 生涯学習課長</p>	<p>ここで、議題に入ります前に、富津市生涯学習課文化係長の桐村から、お手元にお配りしました資料の確認を致します。</p>

<p>(富津市) 桐村副主幹</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 会議次第 2 委員等名簿 3 席次表 4 平成29年度事業の進捗状況 (『天然記念物「高宕山のサル生息地」の サルによる被害防止管理事業報告書(途中経過)』) 5 平成29年度予算執行状況 6 平成30年度事業計画書(案) 7 平成30年度事業予算案(案) <p>不足はございませんでしょうか。 では以上で、資料の確認を終わります。</p>
<p>(富津市)岩名 生涯学習課長</p>	<p>本日の会議は公開となります。会議終了後、会議録を作成し、富津市及び君津市のホームページにて公開します。会議録作成のために録音させていただきますので、ご了承願います。</p> <p>それでは、本委員会設置要綱第7条第3項の規定により、議長を小泉委員長にお願いします。</p>
<p>小泉議長</p>	<p>それでは始めに、会議録署名委員を2名決定したいと思います。こちらから指名してよろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>(異議なしの声)</p>
<p>小泉議長</p>	<p>それでは、大野一郎委員と小林琢也委員にお願いを致します。</p> <p>では、議題に入らせて頂きます。議題(1)平成29年度事業の経過報告及び予算執行状況について事務局の説明を求めます。</p>
<p>(君津市) 當眞副主幹</p>	<p>それでは、私の方から平成29年度事業の途中経過についてご説明致します。お手元の報告書をお開き下さい。</p> <p>○『平成29年度天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業報告書(経過報告)』に沿って説明</p> <p>本報告書につきましては平成30年2月28日現在の記載となっていることをお伝え致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 被害防止 <ol style="list-style-type: none"> (1) 電気柵による被害防止 <p>当事業で設置した既設電気柵の維持管理、改修を実施しております。</p> <p>①維持管理については、月1回以上の点検や補修を行いました。3・4</p>

ページの表1-1、1-2が結果となっています。

宇藤原地区の周回電気柵は、年3回程度の草刈を実施しております。

②改修は、富津市側は1ページ図1-1をご覧ください。宇藤原地区U14とU2で約120mの改修を実施し、現在も実施中でございます。宇藤原地区U14とU2との間を塞ぐことと、その先の老朽化したU2を改修する内容で行っております。

君津市側は2ページの図1-2にあります平田地区のK10とK18、およびK17で75mを改修しました。下が改修後の写真です。K17では、地元からの「竹の子被害を改善したい」という希望をうけ、既存のK17で柵の外側となっていた竹林を、電気柵の内側になるように設置することとし、障害となる樹木等の伐採を行い、新たなルートを設けました。

(2) 被害多発期の追い払いについて

今年度は8月15日から9月9日までの期間中、要現状変更範囲である富津市宇藤原・高溝地区を中心に、群れの監視とパトロールを行いました。実施員数は延べ18人日です。

(3) 被害実態調査

3月内で、実施中であります。

2. 生態調査と個体数管理

(1) 電波発信機（テレメーター）装着のための捕獲

テレメーターを装着するために、箱ワナを10台、8か所に設置しました。設置箇所は6ページ図2-1に記しました。

今年度は計8回の捕獲がありましたが、うち2頭は同一個体の再捕獲であったため、捕獲頭数は6頭、そのうち、装着に適したメス2頭にテレメーターを装着しました。

7ページの表2-1は捕獲個体の一覧です。テレメーター装着個体は、表の一番上、富津市大田和で捕獲したタカゴ01のメス・ハチと、表の一番下、君津市怒田沢で捕獲したタカゴ08のメス・イカルの2頭でしたが、タカゴ01のハチについては、装着後、再捕獲し、子猿とともに安楽殺処分したため、このテレメーター装着は無効となりました。報告書の10ページにその経緯を記載しております。

同一個体の再捕獲は、7ページの一覧表で、タカゴ01と03のハチ、タカゴ02と04のハチの子どもと思われるオスの子猿です。2頭は、富津市大田和地区に頻繁に出没し、作物被害を出したため、地元住民から捕獲要請がありました。一度は群れに戻すべく放獣しましたが、再度出没し被害があったため、被害防止の観点から、2頭を安楽殺処分いたしました。

次に、一覧表のタカゴ05について、ご説明いたします。

タカゴ05は、捕獲時の外部計測の結果、アカゲザルとの交雑が疑われたコドモメスです。9ページに、環境省関東地方環境事務所による交雑

判定基準を掲載いたしました。タカゴ05は、尾長が基準値を上回っております。捕獲後、その対応について、県文化財課・自然保護課と協議し、採取血液の遺伝子分析を行い判断することとし、緊急でしたが本事業において、かずさDNA研究所に分析を依頼したことを、ご報告いたします。分析の結果、交雑が認められなかったため、放獣しました。

今年度は、もう一つの方法、京都大学霊長類研究所が、予定外のサンプル分析を受け付けていない状況でありましたので、かずさDNA研究所の結果で判断いたしました。

(2) 追跡調査

今年度の追跡対象群は、11ページの表2-3にありますT-II群、石見堂群、フジコ群、小倉A群、怒田沢A群、イカル群、旅名A群、尾崎群の8群、今年度から君津市側の怒田沢で新たなテレメーター装着個体があり、イカル群が追加されました。

年度中にテレメーター停止や個体死亡等で、追跡が途絶えた個体は、T-II群のハチ、石見堂群のイナ、フジコ群のフジコ、怒田沢A群のヌタの4頭で、これにより、フジコ群、怒田沢A群は追跡ができなくなりました。石見堂群については、イナの電波を受信できない状況（おそらく、電池切れとおもわれますが、）となったが、目視でイナを確認できたため、イナの識別による追跡調査を行いました。T-II群のワカコについては、県事業での再捕獲でテレメーターを装着しております。

2月末での指定地域周辺のテレメーター装着個体は9頭となります。

各群れの遊動域の結果について、11～13ページに本文、14ページ以降に遊動域を示した図がございます。本報告では、2月末までの遊動域を掲載してありますが、最終的には、千葉県ニホンザル事業の結果も加えて取りまとめる予定です。

全体的に見たところ、各群れの遊動域には、大きな変化はみられません。個体数を目視で観察できたものは、12ページに記載したように、石見堂群、旅名A群、尾崎群の3群です。数え漏れもあるかと思いますが、石見堂群34頭、旅名A群13頭、尾崎群18頭でした。

また新たに加わった、イカル群について、13ページ上に記載がございます。2月に捕獲した装着個体のため、遊動データが少なく、18ページの図には、確認地点を掲載しました。君津市二入地区付近を遊動しております。平成25～26年度にかけて調査した、西日笠群と同群の可能性が考えられ、今後の調査で行動域を確認していきます。

(3) 個体数管理

富津市農林水産課、君津市農政課より有害鳥獣駆除の資料を提供していただき、取りまとめます。

また、3.天然記念物指定地域の生息環境調査についても、今年度末に取りまとめます。

以上、報告を終わります。

<p>(富津市) 桐村副主幹</p>	<p>それでは続きまして、平成29年度事業の予算執行状況についてご説明いたします。</p> <p>○資料『平成29年度 天然記念物 「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業予算執行状況 平成30年2月28日現在』に沿って説明)</p> <table border="0"> <tr> <td>歳入</td> <td>(収入済額)</td> <td>4,473,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内訳 富津市</td> <td>2,460,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>君津市</td> <td>2,013,000円</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>(支出済額)</td> <td>3,030,675円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内訳 報償費</td> <td>18,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>賃金</td> <td>2,338,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>旅費</td> <td>167,390円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>需用費</td> <td>490,889円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>役務費</td> <td>16,396円</td> </tr> </table> <p>2月28日現在、約68%の執行率となっております。予算執行状況の説明については以上となります。</p>	歳入	(収入済額)	4,473,000円		内訳 富津市	2,460,000円		君津市	2,013,000円	歳出	(支出済額)	3,030,675円		内訳 報償費	18,000円		賃金	2,338,000円		旅費	167,390円		需用費	490,889円		役務費	16,396円
歳入	(収入済額)	4,473,000円																										
	内訳 富津市	2,460,000円																										
	君津市	2,013,000円																										
歳出	(支出済額)	3,030,675円																										
	内訳 報償費	18,000円																										
	賃金	2,338,000円																										
	旅費	167,390円																										
	需用費	490,889円																										
	役務費	16,396円																										
<p>(調査団)白鳥</p>	<p>事業報告について少し補足説明させていただきます。</p> <p>行動域図についてですが、平成27年度、28年度につきましては千葉県による追跡調査のデータも入っております。本年度につきましても、県事業のデータが入れば少し様子が変わる可能性があります。</p>																											
<p>小泉議長</p>	<p>ありがとうございました。 説明が終わりましたが、ただいまの説明につきまして、何かご質問等ございませんでしょうか。</p>																											
<p>池田委員</p>	<p>それにしても遊動域がすごく狭くなっておりますが、県のデータと合わせると、範囲が広がるのでしょうか。</p>																											
<p>(調査団)白鳥</p>	<p>まだ県のデータがありませんのでわかりませんが、石見堂群についてはテレメーターの発信が途絶えておりますので、県の方では調査はしていません。</p>																											
<p>池田委員</p>	<p>被害防止について、改修したK17では、竹林被害ということでしたが、竹林に被害を与えていたのはサルなのですか。</p>																											

<p>(調査団) 白鳥</p>	<p>地元によりますと、サルもありますが、イノシシも被害を出しているということでした。</p>
<p>嶋野委員</p>	<p>富津市有害鳥獣対策協議会の立場でお話します。去年の会議でも言いましたが、宇藤原についてはかなり前から電気柵が設置され、耐用年数も過ぎており、ボロボロになって用を成さない所もあります。</p> <p>当初はサルだけの問題で設置していましたが、今現在になりますと、イノシシ、シカが大変増えてきてまして、サルで設置した電気柵あるいは網を壊して入ってきます。サルはその後、穴の開いた所から入ってくるというのが現状です。</p> <p>今日の報告にもありますように、単年度では100m、120mの補修もありますが、このような状況ですので、当初は集落を囲うというような目的でこの事業の説明があったわけですが、現在は虫食い状態のようになっておりますので、被害が一向に減りません。ましてや高齢化にもよりますが、耕作放棄地も増えている状況に拍車をかけるような状態です。今年度の予算では到底追いつかない状況になっているように思われます。</p> <p>そのような観点から、被害の方は農林で予算をつけて電気柵等を設置していますが、住民の考えとしては、教育委員会とか農林とかの縦割りではなくて、合算して被害を無くすというふうに持っていけないものでしょうか。その辺の対策を前向きに考えて頂きたいと思います。</p>
<p>(調査団) 直井</p>	<p>電気柵につきましては、農林水産課の方で、補助金によるイノシシ・シカ防護柵の設置というのをやっておりますが、宇藤原・高溝地区は、当事業によって電気柵を作っているのので、補助金による柵の対象から外れているような状況です。たとえばイノシシ・シカの金網の柵を補助金で建てて頂いて、そこに高宕事業で電気の措置を行ってサルに対応できるようにするとか、あるいはサル用も含めて、電気も含めて補助金で設置して頂いて、それを本事業の方で維持管理を行うという形が取れないか。そういうことができれば、相当早めに改修が進むと考えておりますが、そういったことをご検討頂きたいというのが調査団としての意見です。実際に一つの防護柵に本事業の予算と補助金を合わせて使うことは、難しいと思いますが、可能なのでしょうか。</p>
<p>(富津市) 桐村副主幹</p>	<p>どういった使い方ができるのかということについて、農林水産課と連携を取るなり、協議を重ねながら考えていきたいと思っております。</p>
<p>嶋野委員</p>	<p>よろしく申し上げます。</p>
<p>小泉議長</p>	<p>ほかにございませんでしょうか。</p> <p>それではほかはないようですので、議題(1)平成29年度事業の経過報告及び予算執行状況について、ご承認頂けますか。</p>

委員一同	(異議なしの声)																											
小泉議長	<p>どうもありがとうございます。本件は承認されました。続きまして、議題(2)に移ります。</p> <p>議題(2)平成30年度事業計画(案)及び予算(案)について事務局の説明を求めます。</p>																											
(君津市) 當眞副主幹	<p>平成30年度の実業計画(案)についてご説明いたします。</p> <p>○資料『平成30年度 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業計画書(案)』に沿って説明</p> <p>(1) 被害防止事業</p> <p>①既設電気柵の維持管理</p> <p>②被害多発期の追い払いによる被害防止</p> <p>③被害実態調査</p> <p>(2) 生態調査と個体数管理</p> <p>①指定地域とその周辺に生息する群れの生態と個体数</p> <p>②群れの生態に関するデータの取りまとめ</p> <p>③個体数管理</p> <p>(3) 天然記念物指定地域の生息環境調査</p> <p>①生息環境調査</p> <p>②環境改変</p>																											
(富津市) 桐村副主幹	<p>それでは平成30年度予算案についてご説明いたします。</p> <p>○資料『平成29年度 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業予算(案)』に沿って説明。</p> <table data-bbox="462 1288 1149 1433"> <tr> <td>歳入</td> <td>(委託料)</td> <td>4,473,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内訳 富津市</td> <td>2,460,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>君津市</td> <td>2,013,000円</td> </tr> </table> <table data-bbox="462 1467 1149 1747"> <tr> <td>歳出</td> <td>(予算額)</td> <td>4,473,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内訳 報償費</td> <td>123,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>賃金</td> <td>2,750,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>旅費</td> <td>352,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>需用費</td> <td>1,226,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>役務費</td> <td>22,000円</td> </tr> </table> <p>平成30年度予算(案)につきましては以上です。</p>	歳入	(委託料)	4,473,000円		内訳 富津市	2,460,000円		君津市	2,013,000円	歳出	(予算額)	4,473,000円		内訳 報償費	123,000円		賃金	2,750,000円		旅費	352,000円		需用費	1,226,000円		役務費	22,000円
歳入	(委託料)	4,473,000円																										
	内訳 富津市	2,460,000円																										
	君津市	2,013,000円																										
歳出	(予算額)	4,473,000円																										
	内訳 報償費	123,000円																										
	賃金	2,750,000円																										
	旅費	352,000円																										
	需用費	1,226,000円																										
	役務費	22,000円																										
小泉議長	<p>事務局の説明は終わりました。</p> <p>ただいまの説明について何かご質問等ございますか。</p>																											

嶋野委員	<p>先ほども言いましたが、今年は190mの改修を予定しているとのことでしたが、190mでは到底追いつかないと思います。天然記念物の委員の名簿がありますが、今後は地元の意見が反映されるように、地元の委員さんも入れた方が良くはないかという気がします。</p>
(君津市) 當眞副主幹	<p>委員の委任につきましては、設置要綱に記載されている役職の方もいらっしゃると思いますが、嶋野委員からご指摘がありましたように、指定地域で被害が出ているということもありますので、今後地元の意見を取り入れるようにしていきたいと思っております。</p>
小泉議長	<p>予算の関係は如何ですか。</p>
(君津市) 當眞副主幹	<p>確かに190mは君津市側と富津市側の両方を足しての長さなので、宇藤原を周回させるのには及ばないものでございます。当事業ではサルの遊動域を把握して被害防止に役立てるために、テレメーターを来年度6基装着するということで考えておりますが、生きているものが相手でございますので、もしかしたら、6基装着できない場合もあります。そうした場合、その分の予算を電気柵の費用に使うような形でやっていきたいと思っております。</p>
嶋野委員	<p>是非、捕獲していただいて、テレメーターを付けて、遊動範囲を確実につかんで、被害防止に役立てて頂ければと思います。</p>
小泉議長	<p>ほかにございませんでしょうか。 それではほかにご質疑もないようですので、議題（2）平成30年度事業計画（案）及び予算（案）について、ご承認頂けますか。</p>
委員一同	<p>（異議なし）</p>
小泉議長	<p>どうもありがとうございます。本件は承認されました。 続きまして、議題（3）その他でございますが、何かございませんでしょうか。 特にないようでしたら、本日、千葉県教育庁文化財課から水野様がお見えですので、お話を伺いたいと思っております。</p>
県文化財課 水野文化財 主事	<p>千葉県文化財課の水野と申します。どうぞよろしく申し上げます。 先ほどからお話をお伺いさせて頂きまして、高宕山の周辺では、被害が多発していて190mの防護柵では足りないということでした。 またそれとは別に交雑の問題で、実際に尾の長さを測ってみたところアカゲザルの交雑が疑われるものであるにもかかわらず、遺伝子の方では交雑判定がでないということで、見た目でも区別がつかないと</p>

<p>小泉議長</p> <p>県自然保護課 西川副主査</p>	<p>いう、非常に難しい状態になっていることを実感しております。</p> <p>こうした様々な問題が複合的に起こっているということで、対処しなければいけないと感じていたところです。文化庁の補助金のメニューとしては、天然記念物については幾つかありまして、一つは天然記念物食害対策事業という天然記念物に指定された動物による被害防止の事業があります。一方で交雑対策につきましては、天然記念物再生事業という、行政が天然記念物を守っていくという事業で、使えるかどうかは確認しなければなりません、可能性のあるメニューは以上の2つでございます。</p> <p>いずれにしても文化庁と協議をしなければいけないことですが、問題が混ざった状態で、一遍にこれを解決してゆこうとすると、補助金の使い勝手も悪くなってしまいますので、優先的にやらなければならないことを、決めたほうが良いと思います。今後とも、富津市・君津市と十分協議した上で、お力になりたいと思っておりますので、何かございましたら、文化財課に連絡頂ければと思います。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>続きまして、千葉県自然保護課の西川様、お願いいたします。</p> <p>自然保護課の西川でございます。</p> <p>私の方からは、千葉県自然保護課の方のニホンザル事業、交雑対策についてお話しさせていただきたいと思っております。</p> <p>今年度、1回目の会議で群れの一斉調査をしますというお話を致しました。君津市・富津市については来年度実施する予定で事前の打ち合わせを進めています。今年度は大多喜町・勝浦市・鋸南町・南房総市のサルの生息域の調査を実施させて頂きました。</p> <p>調査結果については、まだ最終的な取り纏め中でして、正式な結果が上がってきていないので、具体的な群れの数などをこの場でお伝えすることはできないのですが、県内に生息している群れの数と生息場所、おおよその推定頭数、加害レベルが判定されて出てきます。</p> <p>その調査と同時に、今回交雑の方も広域的な問題ということで、市町村の有害捕獲個体を写真判定、環境省からの判断基準で、外見からの尾長とか毛の色のグラデーションから判定する方法も示されておりますので、そちらの判断基準で今回写真判定を同時に実施しています。群れの調査の結果と、交雑については残念ながらどの群れの捕獲個体かというところまでは特定できないので、捕獲地点からの推定になるのですが、それらの結果を踏まえて、群れごとの具体的な対策を決めてゆくという段階になります。</p> <p>来年度はまだ調査を実施していない地域もあるので、30年度は調査を実施させて頂いて、夏に調査を実施して、年度内に結果が出てくるので、方針を決めていくという形を考えております。今後県の方のサルの対策の進め方というのも、交雑対策も結果を踏まえて対応していきたいと思っておりますので、そしてその結果を市町村にお伝えさせて頂きますので、どうぞよろしくお願い致します。</p>
-------------------------------------	--

小泉議長	<p>ありがとうございました。 ただいまのお二人のご説明につきまして、何か質問はございませんか。</p>
山口委員	<p>純血のニホンザルの分布というか、天然記念物に指定されているものは全国レベルではどれくらいあるのでしょうか。ニホンザルの交雑が今問題になっていますが、純血であることは天然記念物として重要なのですよね。</p>
<p>県文化財課 水野文化財 主事</p>	<p>原則としてアカゲザルが入ってくる前までは、天然記念物として純血であるか否かというよりは、千葉県においては半島に隔離分布しているということの価値が高いということで、天然記念物に指定された経緯がございますけれども、そこにアカゲザルが侵入してきてしまって、外来種と在来種の混血という問題が生じてしまっているために、今のような状態になっているわけです。</p> <p>国内でほかにも天然記念物指定されているニホンザル生息地がございますけれども、原則として指定されているサルはニホンザル、純血というのは、アカゲザルというか他の種の混血が認められていないものが指定されているという認識はあります。</p>
山口委員	<p>千葉県内には高岩山以外に、ニホンザルの分布はどの程度あるのですか。</p>
<p>県自然保護課 西川副主査</p>	<p>千葉県のニホンザルの分布は、房総半島のちょうど膨らんでいるあたり、中央地域くらいです。館山市は確認されていないですし、南房総市も本当に鋸南に接するあたりまで、南側は鴨川市まで、北側は市原市まで、その間の10市町にまたがるエリアは広くニホンザルが分布している。そのエリアの中で、すでに県の方で検査している交雑の結果でも、鋸南町だけでなく、広い範囲で交雑個体が確認されている状況なので、どこの群れが完全に純血といえる状態なのか、どこの群れがどこまで交雑が進んでいるのかということは、群れ単位では把握ができていない状況です。</p>
山口委員	<p>これだけ被害が出ている実態があって、あとやはり文化財としての天然記念物として重要なもの、その辺をどうやってバランスを取っていくかがこの会議の目的だと思いますので、また詳しく教えて頂けたらと思います。期待しています。</p>
小泉議長	<p>ほかに何かございませんでしょうか。</p>
池田委員	<p>房総丘陵というのは東西40キロ、上下の幅が15キロくらい、島みたいなもので、そもそもそこにはニホンザルしかいないはずで、法律ができたときにはニホンザルしかいなかったもので、アカゲザルがど</p>

<p>小泉議長</p> <p>(富津市)岩名生涯学習課長</p>	<p>うのこうのということは一切考慮していませんでした。それが中身の方が変わり始めてきて、というのが今だと考えるのがよろしいかと思えます。</p> <p>15キロというのが徐々に徐々に南北に膨らんでいるのが現状なのですけれども、その先農耕地になってしまいますから、畑の中にずっと一日サルがいるのか、森林と畑の境くらいの鹿野山の北側から出てきたあたりが最前線になるのか、そういう風にサルの群れを捉えるのがよろしいかと思えます。</p> <p>東西は海になっているのでそれ以上進めない、林の中心部にたくさんいるかということ、そこはあまり変わりません。そこにサルがたくさんいてもいなくても、普通人が行きませんから目立たない、人がいるところに出てくると騒ぎが大きくなる、そんな風に考えて頂ければいいと思えます。</p> <p>ほかにご質問等ございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>ほかにはないようですので、議長の職をこれで解かせて頂きます。ご協力ありがとうございました。</p> <p>小泉議長ありがとうございました。以上をもちまして、平成29年度第2回天然記念物「高宕山のサル生息地」被害防止管理委員会会議を閉会いたします。</p> <p>長時間にわたる審議ありがとうございました。</p>
----------------------------------	---